



道徳通信第1号は、いかがでしたか。不定期ではありますが、これからも、道徳学習の様子をお届けしていければと思います。

毎月末、子供たちが道徳の学習で活用しているファイルを持ち帰ります。学習の中で、お子さんがどのように考えているのか、ぜひご覧いただければと思います。持ち帰ったファイルは、表紙の裏に押印する箇所がありますので、確認印を押していただき、翌週学校にご返却ください。よろしくお願いいたします。

では、今回は5年1組と2年2組の道徳授業の様子です。

## 5年1組 「泣いた赤鬼」～友情のあり方～

5年1組では「泣いた赤鬼」という教材を使って友情とは何なのだろうかを学級で話し合いました。この教材は、人間と仲良くなりたいた赤鬼のために、青鬼は悪者になる芝居をします。村人は赤鬼と仲良くなりますが、青鬼は赤鬼のため黙って旅立ちます。真実を知った赤鬼は、青鬼の友情に涙するお話です。

まず、考えるきっかけとしてドラえもんを用い、現在もっている友達のイメージを話し合いました。その後、「泣いた赤鬼」についての内容を通して、友達とは、お互いのことを理解し合い、自分のことは大切にしつつ、時には友達の方をより大切に考えることもあるということに気付きました。振り返りの時間では、自分の友情とは、どのようなことを大切にすることなのかを中心に考えました。



### 子供たちのふりかえり

- ・ 本当の友情は、お互いに我慢せず、助け合い、相手の気持ちを考えることだと思う。
- ・ 自分より相手を感じる事が、本当の友情なのかもしれない。
- ・ 相手のことを理解するために、どうしたいか考えたり聞いたりすることが大切だと思う。

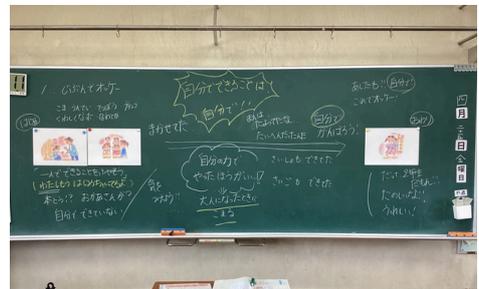
## 2年2組 「じぶんでオッケー」～自分のことは、自分で～

2年2組では「じぶんでオッケー」という教材を使って、自分でできることは自分でしようとする大切さについて学級で話し合いました。この教材は、「忘れ物はしない」と目標を立てた主人公が、実際は母親に頼っている現状であることから始まります。また、登校時間に遅れないようにと急ぐ主人公の様子は、母親に心配までかけていました。しかし、先生の言葉や友達との会話をきっかけに、再度、自分でできるようにしたいことを考えるといった内容です。

子供たちは話し合いを通して、「いまの自分でできること」は何なのか、深く考えていました。下級生ができたことにより「お兄さん（お姉さん）になった」ことにも触れ、それにふさわしい基本的な生活習慣について、ぜひ、ご家庭でも話し合ってみてください。

### 子供たちのふりかえり

- ・ 今まで「ハンカチとって」と言っていたけど、これからは自分でやろうと思いました。
- ・ 自分でできることは自分でやることにしよう。頑張りたい。
- ・ できることは自分でやった方が、心が温まると思いました。
- ・ 自分でやっているつもりだったけど、手伝ってもらっていることに気付きました。



道徳通信への感想や道徳に関するご意見など、保護者の皆様からのコメントをお待ちしております。何かありましたら、QRコードまたは、切り取り線よりお知らせください。よろしくお願いいたします。

お名前 ( )

ご感想やご意見

◎道徳通信にコメントを載せてもよい【 はい ・ いいえ 】